



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 加藤製作所  
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 加藤 公康  
 (氏名) 小西 二郎  
 配当支払開始予定日

TEL 03-3458-1130  
 平成25年12月3日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	32,501	28.2	2,050	432.8	2,414	867.3	1,409	—
25年3月期第2四半期	25,349	0.6	384	△69.0	249	△79.3	104	△87.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,013百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △392百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.05	—
25年3月期第2四半期	1.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	87,423		37,159			42.5
25年3月期	85,302		35,382			41.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 37,159百万円 25年3月期 35,382百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	17.0	4,300	112.0	5,100	126.3	3,000	82.2	51.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	58,717,936 株	25年3月期	58,717,936 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	112,324 株	25年3月期	109,708 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	58,607,081 株	25年3月期2Q	58,609,125 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権のアベノミクス効果による円安や株式市場の復調など回復の兆しが見え、企業収益が徐々に改善されデフレ脱却や景気回復の期待感が高まっております。一方、海外では新興国の経済成長は鈍化し、海外経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業環境は、国内においては復興需要や買い替え需要の後押しもあり、堅調に推移致しました。海外地域において、特に新興国向けは、円安の影響もあり堅調に推移致しました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は325億1百万円(前年同期比128.2%)となり、収益につきましては、営業利益20億5千万円(前年同期比532.8%)、経常利益24億1千4百万円(前年同期比967.3%)、四半期純利益は14億9百万円(前年同期は1億4百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本における建設用クレーン及び油圧ショベルの需要は、震災復興需要や買い替え需要により下支えられ緩やかな回復傾向が見えてまいりました。一方、新興国向けの建設用クレーンは、円安の影響もあり堅調に推移しました。売上高は285億3千8百万円(前年同期比122.0%)となり、セグメント利益(営業利益)は11億5千5百万円(前年同期は5千4百万円)となりました。

② 中国

中国における油圧ショベルの需要は、経済成長が鈍化している中で需要が底を打ち回復傾向がみられました。売上高は52億3千9百万円(前年同期比144.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は8億3千7百万円(前年同期比253.1%)となりました。

主要品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設用クレーン

日本では、震災復興需要や買い替え需要により、小型・中型機種を中心に緩やかな回復傾向がみられました。海外では、依然として厳しい状況にて推移したものの、円安の影響もあり新興国向けが増加致しました。売上高は198億6千8百万円(前年同期比126.5%)となりました。

② 油圧ショベル等

日本は、震災復興需要や買い替え需要により増加し、中国の需要は回復傾向がみられ増加しました。その他海外地域は、依然として厳しい状況が続いております。売上高は122億7千6百万円(前年同期比130.7%)となりました。

③ 路面清掃車等

路面清掃車等につきましては、売上高3億5千6百万円(前年同期比141.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末の853億2百万円に比べ21億2千1百万円(102.5%)増加し、874億2千3百万円となりました。これは主として現預金の増加42億1千1百万円と、受取手形・売掛金の減少24億7千6百万円、棚卸資産の増加1億8千8百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第2四半期連結累計期間末における負債合計は、前連結会計年度末の499億2千万円に比べ3億4千3百万円(100.7%)増加し、502億6千4百万円となりました。これは、支払手形・買掛金が46億3千6百万円増加し、短期・長期借入金が48億7千9百万円減少したことが主な要因であります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末の353億8千2百万円に比べ17億7千7百万円(105.0%)増加し、371億5千9百万円となりました。これは、四半期純利益14億9百万円と、その他の包括利益6億4百万円の増加要因と、配当金の支払い2億3千4百万円の減少要因によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は189億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億1千1百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況につきましては、つぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、93億8百万円の増加となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益24億1千4百万円、売上債権の減少28億3千6百万円および仕入債務の増加46億1千5百万円等の増加要因と、法人税等の支払額5億4千万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、1億1百万円の減少となりました。その主な要因は、工場関係の機械設備等の取得8千2百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、51億1千6百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金による収入21億円の増加要因と、短期借入金の返済43億円、長期借入金の返済26億7千9百万円ならびに配当金の支払い2億3千5百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、予想を上回る結果となりました。通期の業績といたしましても、国内におきましては、買い替え需要や消費税増税前の駆け込み需要等で、建設用クレーンや油圧ショベルとも堅調に推移するものと予想され、中国は落ち込んでいた需要が底を打ち、回復傾向にあります。東南アジア向けクレーンの需要も引き続き順調に推移するものと見込んでおります。このような状況を踏まえ、平成25年11月7日に業績予想を修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,730	18,942
受取手形及び売掛金	38,547	36,071
たな卸資産	20,339	20,527
繰延税金資産	1,258	1,434
その他	351	487
貸倒引当金	△1,460	△1,607
流動資産合計	73,767	75,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,954	3,877
機械装置及び運搬具（純額）	1,208	1,225
土地	2,744	2,744
建設仮勘定	78	133
その他（純額）	197	168
有形固定資産合計	8,183	8,149
無形固定資産	235	237
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583	1,647
破産更生債権等	1,023	998
繰延税金資産	293	273
その他	1,238	1,260
貸倒引当金	△1,023	△998
投資その他の資産合計	3,115	3,180
固定資産合計	11,535	11,568
資産合計	85,302	87,423

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,132	21,768
短期借入金	8,605	4,305
1年内返済予定の長期借入金	5,208	4,849
未払法人税等	537	1,160
割賦販売前受利息	1,231	1,111
賞与引当金	378	414
製品保証引当金	248	392
その他	755	658
流動負債合計	34,095	34,660
固定負債		
長期借入金	14,478	14,257
退職給付引当金	718	707
役員退職慰労引当金	624	633
その他	4	4
固定負債合計	15,825	15,603
負債合計	49,920	50,264
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	23,967	25,142
自己株式	△26	△27
株主資本合計	33,986	35,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	145
為替換算調整勘定	1,282	1,854
その他の包括利益累計額合計	1,395	1,999
純資産合計	35,382	37,159
負債純資産合計	85,302	87,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	25,349	32,501
売上原価	22,500	27,595
売上総利益	2,848	4,905
販売費及び一般管理費	2,464	2,855
営業利益	384	2,050
営業外収益		
受取利息	15	25
割賦販売受取利息	270	262
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	7	16
為替差益	—	236
貸倒引当金戻入額	80	—
製品保証引当金戻入額	87	—
その他	20	61
営業外収益合計	488	609
営業外費用		
支払利息	228	215
為替差損	366	—
その他	27	30
営業外費用合計	623	245
経常利益	249	2,414
特別利益		
固定資産売却益	11	0
特別利益合計	11	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	260	2,414
法人税、住民税及び事業税	27	958
過年度法人税等	—	200
法人税等調整額	128	△153
法人税等合計	156	1,004
少数株主損益調整前四半期純利益	104	1,409
四半期純利益	104	1,409

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	104	1,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	30
為替換算調整勘定	△485	571
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△496	604
四半期包括利益	△392	2,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△392	2,013
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	260	2,414
減価償却費	301	316
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△128	49
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11	△10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	8
受取利息及び受取配当金	△22	△32
支払利息	228	215
為替差損益(△は益)	325	△194
持分法による投資損益(△は益)	△7	△16
割賦販売前受利息の増減額(△は減少)	△138	△120
固定資産売却損益(△は益)	△11	△0
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,611	2,836
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,954	44
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,115	4,615
未払費用の増減額(△は減少)	23	4
未収消費税等の増減額(△は増加)	176	△345
その他	△70	236
小計	479	10,023
利息及び配当金の受取額	23	33
利息の支払額	△229	△207
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△113	△540
営業活動によるキャッシュ・フロー	159	9,308
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△348	△82
有形固定資産の売却による収入	27	8
無形固定資産の取得による支出	△1	△0
その他	△23	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345	△101
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△4,300
長期借入れによる収入	1,100	2,100
長期借入金の返済による支出	△2,315	△2,679
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△294	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,510	△5,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△239	120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,935	4,211
現金及び現金同等物の期首残高	13,858	14,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,922	18,942

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	21,727	3,621	25,349	—	25,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,670	—	1,670	△1,670	—
計	23,398	3,621	27,019	△1,670	25,349
セグメント利益	54	330	384	0	384

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去等0百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	27,261	5,239	32,501	—	32,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,276	—	1,276	△1,276	—
計	28,538	5,239	33,777	△1,276	32,501
セグメント利益	1,155	837	1,992	57	2,050

(注) 1 セグメント利益の調整額には主としてセグメント間未実現利益消去57百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。